

困ったときは もくじ

困ったときは もくじ	1
------------------	---

1章 パソコンの動作がおかしいときは3

1 セーフモードで起動する - Windows 7 -	4
2 「詳細オプション」で調べる - Windows 10/Windows 8.1 -	5
3 「システム回復オプション」で調べる - Windows 7 -	6
4 エラーメッセージ	8

2章 Q&A集9

1 Q&A集	10
--------------	----

3章 パソコンを再セットアップするには 17

1 パソコンの調子がおかしいときは.....	18
2 パソコンを初期状態に戻す前に	20
1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ.....	21
2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと.....	22
3 パソコンを初期状態に戻す - Windows 10/Windows 8.1 のリカバリー-	24
1 いくつかある初期状態に戻す方法	24
2 ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す	24
3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す.....	27

4	パソコンを初期状態に戻す	
	– Windows 7のリカバリー–	29
1	いくつかある初期状態に戻す方法	29
2	ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す	30
3	リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す	33
5	Windowsセットアップ	36
1	Windows 10のセットアップ	37
2	Windows 10のセットアップが終了したあとは	41
3	Windows 8.1のセットアップ	42
4	Windows 8.1のセットアップが終了したあとは	45
5	Windows 7のセットアップ	46
6	Windows 7のセットアップが終了したあとは	52
6	プレインストールのアプリケーションを再インストールする	54

4章 保守サービス 57

1	保守サービス	58
1	保守サービスについて	58
2	交換元（取りはずした）部品の所有権	59
3	データの保存について	59
4	保守部品（補修用性能部品）について	59
5	パソコンの据え付け・増設作業について	60
6	当社指定のサービス会社	60

付録 61

1	捨てるとき／人に譲るとき	62
2	リカバリーチェックシート	69
3	トラブルチェックシート	70

1 章

■ パソコンの動作がおかしいときは

パソコンの操作をしていて困ったときの解消方法やエラーメッセージについて説明しています。

* Windows 7のみ

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

Windows 7の場合、Windowsが起動しないときに、Windowsをセーフモードまたは前回正常に起動したときの構成で起動する方法があります。セーフモードでは、最低限の機能でWindowsを起動させることができます。

次の手順で操作してください。

- 1** データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る
- 2** 電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後に **F8** キーを数回押す
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **Enter** キーを押してください。そのあとすぐに、**F8** キーを再び数回押してください。
「詳細ブート オプション」が表示されます。
- 3** メニューが表示されたら、目的に合わせて **[セーフ モード]** または **[前回正常起動時の構成 (詳細)]** を選択し、**Enter** キーを押す

* Windows 10/Windows 8.1のみ

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

Windows 10/Windows 8.1の場合、「詳細オプション」が用意されています。
「詳細オプション」とは、Windowsが正常に起動しなくなった場合に、問題を解決して起動できるようにするメニューが集まったものです。「システムの復元」機能もあります。

1 起動方法

1 データを保存し、**[Shift]**キーを押しながら**[シャットダウン]**をクリックして電源を切る

参照▶ 電源の切りかた『取扱説明書』

2 電源スイッチを押し、ブープ音が鳴った直後に**[0]**（ゼロ）キー（かな入力の**[わ]**キー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して**[Enter]**キーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順**3**に進んでください。

「オプションの選択」画面が表示された場合は、手順**4**に進んでください。

3 「Yes」（「YES」）を選択して、**[Enter]**キーを押す

「オプションの選択」画面が表示されます。

4 「トラブルシューティング」をクリックする

「トラブルシューティング」画面が表示されます。

5 「詳細オプション」をクリックする

「詳細オプション」画面が表示されます。

6 使いたいメニュー名をクリックする

この後の操作は、メニューによって異なります。表示された画面の指示に従って操作してください。

* Windows 7のみ

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

Windows 7の「システム回復オプション」とは、Windowsが正常に起動しなくなった場合に、問題を解決して起動できるようにするメニューが集まったものです。

1 起動方法

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

2 電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後に **F8** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **Enter** キーを押してください。そのあとすぐに、**F8** キーを再び数回押してください。
「詳細ブート オプション」が表示されます。

3 **[コンピューターの修復]** を選択し、**Enter** キーを押す

キーボードの選択画面が表示されます。

4 **[日本語]** を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックする

ログオン画面が表示されます。

5 ユーザー名を選択し、Windowsログオンパスワードを入力する

6 [OK] ボタンをクリックする

「システム回復オプション」が起動します。

- スタートアップ修復
システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動を妨げる可能性のある問題を解決し、正常に起動できるようにします。
- システムの復元
システムファイルを正常に機能していた日時の状態に復元することができます。
- システム イメージの回復
以前に作成したシステム イメージを使用して、コンピューターを回復します。
システム イメージの詳細は、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。
- Windows メモリ診断
メモリが正常に機能しているかどうかを確認します。
- コマンド プロンプト
コマンド プロンプトに切り替えます。
- TOSHIBA Recovery Wizard
リカバリーメニューを表示します。

7 使いたいメニュー名をクリックする

このあとの操作は、メニューによって異なります。表示された画面の指示に従って操作してください。

4 エラーメッセージ

1 章

パソコンの動作がおかしいときは

この項目では、システム起動時に発生する可能性のあるエラーメッセージを説明します。

お願い

- これらのエラーが繰り返し発生する場合は、エラーメッセージの内容と現在の本体の設定環境を具体的に記録し、すぐに当社指定のサービス会社までお問い合わせください。

参照▶ 当社指定のサービス会社「4章 保守サービス」

エラーメッセージ	説明
CMOS Checksum Bad, BIOS settings have been re-initialized. Press F1 to resume Press DEL to enter setup	CMOSおよび日付がクリアされました。内蔵バッテリーが消耗している可能性があります。新しいバッテリーに交換してください。 参照 ▶ 『取扱説明書』 バッテリー交換後、BIOSセットアップを起動し、設定項目および日付を設定し直してください。
Error: RTC bad Press F1 Skip, F2 Enter Setup	内蔵バッテリーが消耗している可能性があります。新しいバッテリーに交換してください。 参照 ▶ 『取扱説明書』 バッテリー交換後、BIOSセットアップを起動し、設定項目および日付を設定し直してください。
Invalid Password	入力したパスワードが正しくありません。再起動して正しいパスワードを入力してください。
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	システムを起動する装置が見つかりません。再起動してください。 再びエラーメッセージが表示される場合は、BIOSセットアップを起動し、ハードディスクが正しく接続されているか、起動ドライブの設定が正しいか確認してください。

2章

■ Q&A集

トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。

Q 本体の電源が入らない**A** 次のいずれかの対処を行ってください。

- 電源コードとACアダプター（付属モデルのみ）を正しく接続してください。
- 電源の通じているコンセントに差ししてください。
- パソコン本体とディスプレイの電源を切り、いったん電源プラグをコンセントから抜いて、しばらくしてから電源プラグをコンセントに差ししてください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない**A** Windows 7の場合、セーフモードまたは前回正常に起動したときの構成で起動しなおすことができます。

電源スイッチを4秒以上押し続けて強制終了してください。

セーフモードまたは前回正常に起動したときの構成での起動方法については、「1章 1 セーフモードで起動する」を参照してください。

Q Windowsがセーフモードで起動した**A** パソコンを再起動してください。**Q エラーメッセージが表示される****A** 「1章 4 エラーメッセージ」をご覧ください。メッセージに対応した処置を行ってください。

また、アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される場合は、『アプリケーションソフトに付属している説明書』をお読みください。

Q 次のようなエラーメッセージが表示された

- [CMOS Checksum Bad, BIOS settings have been re-initialized.
Press F1 to resume
Press DEL to enter setup]
- [Error: RTC bad
Press F1 Skip, F2 Enter Setup]

A 内蔵バッテリーを交換してください。**参照** 内蔵バッテリーの交換方法『取扱説明書』

内蔵バッテリー交換後、BIOSセットアップを起動し、設定項目および日付を設定し直してください。

Q 画面に何も映らない

A 次のいずれかの対処を行ってください。

- パソコン本体およびディスプレイの電源が入っているか、確認してください。
- ディスプレイ用ケーブルは、固定用ネジにゆるみがないように正しく接続してください。
- 電源をいったん切ってから、ディスプレイの電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 接続されているUSB 対応機器によっては、USB 対応機器の電源を入れたあと、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてからUSB 対応機器の電源を入れてください。
- 省電力機能が働いている場合があります。マウスをクリックしたり、電源スイッチを押してください。

Q 画面の表示が乱れる、 あるいは画面のサイズや表示位置などが異常である

A ディスプレイの輝度、コントラストなどの調整および、各調整スイッチで、正しく調整してください。

また、ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバーの再インストールを行ってください。

再インストール方法については、[アプリケーションの再インストール] で表示される画面をご覧ください。

参照 ▶ 「3章 6 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

Q キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

A 次のいずれかの対処を行ってください。

- キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの『日本語入力システムに付属している説明書』を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。
- 半角の「~」（チルダ）が入力できない場合は、**Shift** + **~** キーを押してください。
- キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、入力欄をクリックしてください。
- キーを押しても文字が表示されない場合は、キーボードケーブルのプラグをマウスコネクタに接続している可能性があります。キーボードケーブルのプラグをキーボードコネクタに接続してください。

参照 ▶ キーボードの接続『取扱説明書』

Q マウスの操作ができない

A マウスのケーブルがパソコン本体のUSBコネクタに正しく接続されているかどうか確認してください。

参照 ▶ マウスの接続『取扱説明書』

Q アプリケーションソフトが使えない

A システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。また、アプリケーションソフトが思うように動かない場合は、『アプリケーションソフトに付属している説明書』を読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

Q ハードディスクが使えない

A データの読み出し／書き込みができない場合は、故障しているおそれがあります。

お使いの機種を確認後、当社指定のサービス会社へご連絡ください。

参照 ▶ 当社指定のサービス会社「4章 保守サービス」

Q ドライブにアクセスできない

A 次のいずれかの対処を行ってください。

- ドライブのディスクトレイがきちんと閉まっているか確認し、ディスクトレイに異物をはさまっていたら、取り除いてください。
- ドライブのディスクトレイを引き出し、ディスクラベルを左（本体が横置きの場合上）にして、CD/DVDをセットし直してください。
- CD/DVDが汚れている場合は、乾燥した清潔な布でふいてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で、ふき取ってください。
- ドライブが対応しているフォーマットのCD/DVDをセットしているか確認してください。

Q CD/DVDが取り出せない

A 電源を入れ、ドライブのイジェクトボタンを押してCD/DVDを取り出してください。

参照 ▶ CD/DVDの取り出し『取扱説明書』

Q USB対応機器を接続した状態でシステム（OS）が起動しない場合

- A** BIOSセットアップで [Advanced] メニューの [USB Configuration] の [Legacy USB Support] を、[Enabled] から [Disabled] に変更してください。

それでも解決できない場合には、いったんUSB対応機器を取りはずし、システム（OS）起動後に再度USB対応機器を接続して使用してください。

Q USB対応機器が使えない

- A** ケーブルがパソコン本体のUSBコネクタに正しく接続されているかどうか確認してください。

参照▶ USBコネクタ『取扱説明書』

- A** 何らかの原因で、システム（OS）が正しくUSB対応機器を認識していない可能性があります。

Windowsを再起動してください。

- A** 次の手順でドライバーを正しくインストールしてください。

① [コントロールパネル] を開き、[ハードウェアとサウンド] カテゴリの [デバイスの追加] をクリックする

以降は、画面の指示に従って操作してください。

Q SDメモ리카ード、メモリースティックが使えない

*ブリッジメディアスロット搭載モデルのみ

- A** メディアカードを正しくセットしてください。

タスクバーで [エクスプローラー] ボタンをクリックしてもメディアカードのドライブのアイコンが表示されない場合は、メディアカードを抜き、もう一度挿入してください。

それでもメディアカードのドライブが認識されないときは、いったん電源を切ったあと、もう一度電源を入れてください。

Q SDメモ리카ード、メモリースティックに書き込み（データ保存）ができない

*ブリッジメディアスロット搭載モデルのみ

A▶ メディアカードの空き容量が不足している可能性があります。

次の操作を行ってください。

- 不要なファイルやフォルダーを削除して空き容量を増やしてください。
メディアカードから削除したファイルは元に戻すことはできません。よく確かめてから削除を行ってください。
- 空き容量が十分にある別のメディアカードを使用してください。

A▶ フォーマット形式が、使用するアプリケーションで対応していない可能性があります。

メディアカードをフォーマットし直してください。フォーマットはメディアカードを使用する機器（デジタルビデオカメラやオーディオプレーヤーなど）で行ってください。フォーマットを行うと、そのメディアカードに保存されていた情報はすべて消去されます。よく確かめてからフォーマットを行ってください。

A▶ SDメモ리카ードの場合、次の可能性があります。

ライトプロテクトタブが「書き込み禁止状態」になっている可能性があります。SDメモ리카ードを取り出し、ライトプロテクトタブを「書き込み可能状態」にしてください。

A▶ メモリースティックの場合、誤消去防止スイッチが「Lock」状態になっている可能性があります。

メモリースティックを取り出し、「Lock」状態を解除してください。

Q 音楽用CDやWAVファイルを再生しても、音が出ない

A▶ 通知領域の音量アイコンをダブルクリックして、音量が小さくなっていないか確認してください。

また、外部スピーカーを接続している場合は、本体背面のLINE OUT端子に外部スピーカー（別売り）が正しく接続されているか確認してください。本体前面のヘッドホン出力端子にヘッドホン（別売り）を接続している場合は、外部スピーカーからサウンドは鳴りません。

Q 本体に接続したプリンターが動作しない

A▶ プリンターのケーブルが正しく接続されているか確認してください。

また、パソコン本体の電源をいったん切り、プリンター、本体の順で電源を入れ直してください。

Q うまく印刷できない

A▶ アプリケーションソフトまたはWindowsのプリンター設定で、ご使用のプリンターに正しく設定し直してください。

参照▶ 『アプリケーションソフトに付属している説明書』

Q テレビ、ラジオの調子がおかしい

A▶ テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いている場合、次のいずれかの対処を行ってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオから離してください。
- テレビ、ラジオを接続しているコンセントとは別のコンセントを使ってください。
- 受信機に屋外アンテナを使ってください。
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルターを入れてください。

Q TPMを使用しているパソコンを、修理・保守に出したい

A▶ TPMを使用している場合、修理・保守に出す前に、バックアップしてください。なお、修理・保守に出すと、TPMに故障がなくても、TPMが交換される場合があります。

修理・保守については、当社指定のサービス会社に相談してください。

参照▶ 修理・保守「4章 保守サービス」

Q 異常なおいや過熱に気がついた

A▶ パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。それから、当社指定のサービス会社に連絡してください。ご連絡の際は、次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- ご購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください。）

参照▶ 当社指定のサービス会社「4章 保守サービス」

Q 操作できない原因がどうしてもわからない場合

A▶ 操作できない原因がどうしてもわからない場合は、巻末の「トラブルチェックシート」で必要事項を確認し、当社指定のサービス会社にご連絡ください。

参照▶ 当社指定のサービス会社「4章 保守サービス」



3章

■ パソコンを再セットアップするには

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル対処方法を試しても解決できなかったときに行う、パソコンのリカバリーについて説明します。

パソコンの動作がおかしいと感じたときは、次の方法を実行してください。

次の方法を実行してみる

■ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。

その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。

■ セーフモードで起動できるか実行してみる

* Windows 7のみ

Windowsが起動できないときは、セーフモードで起動してみてください。

セーフモードで起動できた場合は、リカバリーをする前に、当社指定のサービス会社にご相談ください。

参照▶ セーフモード「1章 1 セーフモードで起動する」

■ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

購入後に追加で増設した機器が原因の可能性があるので、それらを取りはずしてから、再起動してください。また、電源関連のトラブルの場合は、パソコンの電源を切り、電源コードとACアダプター（付属モデルのみ）をいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してください。

参照▶ 周辺機器の取りはずし『取扱説明書』

■ ほかのトラブル解消方法を探す

「1章 パソコンの動作がおかしいときは」、「2章 Q&A集」を確認してください。解消方法を紹介しています。

■ システムの復元で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、パソコンに問題が発生したときに、個人用のデータを失わずにパソコンを以前の状態に復元するための機能です。

参照▶ Windows 10/Windows 8.1の場合「1章 2 「詳細オプション」で調べる」
Windows 7の場合「1章 3 「システム回復オプション」で調べる」

メモ

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、アプリケーションやドライバーの再インストールを行うことをおすすめします。

参照▶ 「本章 6 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

それでも改善しない場合

個人用ファイルを保持して、初期状態に戻す（回復／リフレッシュ）

* Windows 10／Windows 8.1 のみ

OSに搭載されているトラブルシューティングのツールを使用すると、おもな個人用ファイルを消去せずに、本製品を初期状態に戻すことができます。

Windows 10の場合

タスクバーの [WebとWindowsを検索] (🔍) で、「初期状態に戻す」と入力して検索してください。

Windows 8.1の場合

スタート画面またはチャームの検索欄に「ファイルに影響を与えないようにPCをリフレッシュする」と入力して検索してください。

それでも改善しない場合

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）

個人データ、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などすべてを消去して、本製品を初期状態に戻します。大切なデータは、あらかじめバックアップしてください。

参照 「本章 **2** パソコンを初期状態に戻す前に」

「本章 **3** パソコンを初期状態に戻す－Windows 10／Windows 8.1のリカバリー－」

「本章 **4** パソコンを初期状態に戻す－Windows 7のリカバリー－」

「付録 **2** リカバリーチェックシート」

2

パソコンを初期状態に戻す前に

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。ハードディスク内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、WindowsパスワードまたはWindowsログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

3章

パソコンを再セットアップするには

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- ハードディスクにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*¹
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 当社指定のサービス会社に相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

* 1 ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード『取扱説明書』

1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

初期状態に戻す前に行う

バックアップをとる など 参照▶「本節 2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと」

初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windows セットアップまで行います）

初期状態に戻す

参照▶「本章 3 パソコンを初期状態に戻す－Windows 10／Windows 8.1 のリカバリー－」
「本章 4 パソコンを初期状態に戻す－Windows 7 のリカバリー－」

Windows のセットアップ 参照▶「本章 5 Windows セットアップ」

初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続

参照▶『取扱説明書』
『各機器に付属している説明書』

ウイルスチェックソフトの
利用の開始

参照▶『ウイルスチェックソフトに付属している説明書』

インターネットの設定

ウイルスチェックソフトの
パターンファイルの更新

参照▶ ウイルスチェックソフトのヘルプ

Windows Update

メールの設定

参照▶『メールソフトに付属している説明書』

アプリケーションの
インストールと設定

参照▶『アプリケーションに付属している説明書』

データの復元

2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- リカバリー手順と、巻末の「リカバリーチェックシート」を印刷したもの
- リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- リカバリーDVD-ROM（付属しているモデルの場合）

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、ハードディスクに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD/DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

- [ドキュメント]（または [マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または [マイ ピクチャー]）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- インターネットの [お気に入り] のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

ただし、ハードディスクをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合や、電源を入れてもシステムが起動しない場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（CDなど）が、お手元にあることを確認してください。

また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合は、リカバリーしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。

参照 ▶ 「Office」のライセンス認証について『はじめに』

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時またはWindowsログオン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

周辺機器を取りはずす

プリンターなどの周辺機器やLANケーブル、拡張カード類などはすべて取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 ▶ 機器の取りはずし『取扱説明書』

本製品を Windows 10/Windows 8.1 にリカバリーする方法について説明します。

1 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- ハードディスクからリカバリーをする
- あらかじめ作成しておいたリカバリーメディアからリカバリーをする
- 付属のリカバリーDVD-ROMからリカバリーをする（付属しているモデルのみ）

通常はハードディスクからリカバリーをしてください。

リカバリーメディアやリカバリーDVD-ROMからのリカバリーは、ハードディスクのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。

リカバリーDVD-ROMが付属していないモデルの場合、リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『はじめに』



メモ

- Office 搭載モデルを、付属のリカバリーDVD-ROMからリカバリーした場合は、リカバリー後に Office 製品を再インストールする必要があります。

参照 詳細について「本章 5 - 4 - 1 Office 製品の再インストールとライセンス認証」

2 ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。

必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。



メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで ボタンをクリックし、[PCの電源を切る] ボタンをクリックしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

1 Windows 10の場合

- ① データを保存し、**[Shift]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

参照▶ 電源の切りかた『取扱説明書』

- ② 電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後にキーボードの **[0]** (ゼロ) キー (かな入力の **[わ]** キー) を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[Enter]** キーを押してください。

「HDD リカバリーをスタートします。」、または「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順③に進んでください。

[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順④に進んでください。

- ③ **[Yes] (「YES」)** または **[はい]** を選択して、**[Enter]** キーを押す

[オプションの選択] 画面が表示されます。

- ④ **[トラブルシューティング]** をクリックする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

- ⑤ **[このPCを初期状態に戻す]** をクリックする

[オプションを選んでください] と表示されます。

- ⑥ **[すべて削除する]** をクリックする

「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示されます。「PCにはドライブが複数あります。」と表示された場合は、[Windowsがインストールされているドライブのみ] をクリックしてください。

- ⑦ **[ファイルの削除のみ行う]** をクリックする

「準備が完了しました。」と表示されます。



- [ドライブを完全にクリーンアップする] を選択してもリカバリーは行えますが、5時間程度かかる場合があります。また、ハードディスクのデータはすべて消去されます。このため、通常は [ファイルの削除のみ行う] を選択することをおすすめします。

- ⑧ **[初期状態に戻す] ボタンをクリックする**

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

この間は絶対に電源を切らないでください。

- ⑨ **セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う**

参照▶ Windows セットアップ [本章 5 Windows セットアップ]

2 Windows 8.1の場合

- ① データを保存し、**[Shift]**キーを押しながら**[シャットダウン]**をクリックして電源を切る
参照▶ 電源の切りかた『取扱説明書』
- ② 電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後にキーボードの**[0]**（ゼロ）キー（かな入力の**[わ]**キー）を数回押す
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して**[Enter]**キーを押してください。
「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順③に進んでください。
「オプションの選択」画面が表示された場合は、手順④に進んでください。
- ③ **[Yes]**（**[YES]**）を選択して、**[Enter]**キーを押す
「オプションの選択」画面が表示されます。
- ④ **[トラブルシューティング]**をクリックする
「トラブルシューティング」画面が表示されます。
- ⑤ **[PCを初期状態に戻す]**をクリックする
「この操作を行うと：」と表示されます。
- ⑥ **[次へ]** ボタンをクリックする
「PCにはドライブが複数あります。」と表示された場合は、手順⑦に進んでください。
「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示された場合は、手順⑧に進んでください。
- ⑦ **[Windowsがインストールされているドライブのみ]**をクリックする
「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示されます。
- ⑧ **[ファイルの削除のみ行う]**をクリックする
「すべて準備できました」と表示されます。

メモ

- [ドライブを完全にクリーンアップする] を選択してもリカバリーは行えますが、5時間程度かかる場合があります。また、ハードディスクのデータはすべて消去されます。このため、通常は [ファイルの削除のみ行う] を選択することをおすすめします。

- ⑨ **[初期状態に戻す]** ボタンをクリックする
画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。
- ⑩ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う
参照▶ Windowsセットアップ「本章 5 Windowsセットアップ」

3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

ここでは、リカバリーメディアを例に説明します。付属のリカバリーDVD-ROMを使用する場合は、リカバリーメディアの場合と同様に操作してください。

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

リカバリーDVD-ROMが付属していないモデルの場合、リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照▶ リカバリーメディアの作成『はじめに』

メモ

● 操作を中断したい場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

① リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

② データを保存し、**[Shift]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

参照▶ 電源の切りかた『取扱説明書』

③ 電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後に **[F11]** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[Enter]** キーを押してください。

④ **[↑]** または **[↓]** キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVDの場合は本製品のドライブを示す項目、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目を選択し、**[Enter]** キーを押してください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

⑤ **[TOSHIBA Recovery Wizard]** をチェックし、**[次へ]** ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑥ 画面の内容を確認し、**[はい]** ボタンをクリックする

⑦ **[初期インストールソフトウェアの復元]** をチェックし、**[次へ]** ボタンをクリックする

「ハードディスク上の全データの消去」は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、すべてのデータが削除されます。

参照▶ 「付録 1 - 4 ハードディスクの内容をすべて消去する」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

⑧ [次へ] ボタンをクリックする

処理が開始され、「しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されます。

画面は、リカバリーの経過に従い切り替わります。

長い時間、同じ画面が表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、[OK] ボタンをクリックしてください。

処理が完了すると、終了画面が表示されます。

⑨ リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■ DVDの場合

1) [終了] ボタンをクリックする

自動的にリカバリーメディアを取り出せる状態になります。

2) リカバリーメディアを取り出す

■ USBフラッシュメモリの場合

1) USBフラッシュメモリを取りはずす

2) [終了] ボタンをクリックする

再び画面が切り替わります。

セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。また、この間は絶対に電源を切らないでください。

⑩ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照▶ Windowsセットアップ [本章 5 Windowsセットアップ]

本製品をWindows 7にリカバリーする方法について説明します。

1 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- ハードディスクからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常はハードディスクからリカバリーをしてください。

リカバリーメディアからのリカバリーは、ハードディスクのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『はじめに』

1 リカバリーメニューについて

次のメニューのなかからリカバリー方法を選択することができます。あらかじめリカバリー方法を決めておくとスムーズに操作できます。

■ ご購入時の状態に復元

ハードディスクを購入したときの状態に戻し、購入時の状態に復元します。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

■ パーティションサイズを変更せずに復元（推奨）

現状のパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。ドライブ（C:）に保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻ります。リカバリーメディアからリカバリーし、リカバリーツールの領域を消去してハードディスクの領域を分割している場合は、その他のドライブに保存されていたデータは、そのまま残ります。ただし、BIOS情報やコンピューターウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、ドライブ（C:）以外の領域にあるデータが使えないことがあります。

■ パーティションサイズを指定して復元

ドライブ（C:）のサイズを指定して復元します。ドライブ（C:）以外のハードディスクのパーティションは消去されます。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

メモ

- どのメニューを選択しても、ドライブ（C:）には購入時と同じシステムが復元されます。

2 ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。

ここでは、「パーティションサイズを変更せずに復元」する方法を例にして説明します。

① データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照▶ 電源の切りかた『取扱説明書』

② コンセントから電源コードのプラグを引き抜き、20秒以上たってから（もう一度）電源コードのプラグをコンセントに接続する

参照▶ 電源への接続『取扱説明書』

③ 電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後にキーボードの **[0]**（ゼロ）キー（かな入力の **[わ]** キー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[Enter]** キーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順④に進んでください。

OSのタイプを選択する画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

警告メッセージ画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。

④ **[Yes]**（**[YES]**）を選択して、**[Enter]** キーを押す

OSのタイプを選択する画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

警告メッセージ画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。

⑤ どちらのOSタイプに復元するかをチェックし、**[次へ]** ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑥ 画面の内容を確認し、**[はい]** ボタンをクリックする

[復元方法の選択] 画面が表示されます。

⑦ **[初期インストールソフトウェアの復元]** をチェックし、**[次へ]** ボタンをクリックする

[ハードディスク上の全データの消去] は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、リカバリーツールの領域以外のすべてのデータが削除されます。

参照▶ 「付録 1 - 4 ハードディスクの内容をすべて消去する」

- ⑧ **【パーティションサイズを変更せずに復元】** をチェックし、**【次へ】** ボタンをクリックするほかのメニューを選択する場合については、次項「その他のリカバリーメニューについて」を参照してください。

■「パーティションサイズを変更せずに復元」の意味と動作

すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。

ドライブ (C:) がリカバリーされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

ドライブ (C:) にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、**【キャンセル】** ボタンをクリックしてください。



メモ

- リカバリーツールとシステム回復オプションの領域などが確保されているため、ハードディスクの100%を使用することはできません。

- ⑨ **【次へ】** ボタンをクリックする

処理が開始され、**【パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。】** 画面が表示されます。

長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーの経過に従い、画面が変わります。

処理が完了すると、終了画面が表示されます。

- ⑩ **【終了】** ボタンをクリックする

システムが再起動し、**【しばらくお待ちください。】** 画面が表示されます。

ここから次の手順の**【Windowsのセットアップ】**画面が表示されるまで、メッセージが表示されたり、システムが自動的に再起動したりしますが、何も操作する必要はありません。

【Windowsのセットアップ】画面が表示されるまで、お待ちください。

また、この間は絶対に電源を切らないでください。

- ⑪ **Windowsのセットアップ**を行う

参照 ▶ Windows セットアップ「**本章 5** Windows セットアップ」

その他のリカバリーメニューについて

「本節 **2** ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す」の手順⑧の「初期インストールソフトウェアの復元」画面の、「パーティションサイズを変更せずに復元」以外のメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元

パソコンを購入したときの状態に戻します。

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のパーティション、システム、アプリケーションが復元された状態になります。

手順⑧では、「ご購入時の状態に復元」をチェックして「次へ」ボタンをクリックしてください。

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

■パーティションサイズを指定して復元

ドライブ (C:) のサイズを変更することができます。

ドライブ (C:) のサイズを、設定できる最大値より小さい値に指定した場合、ドライブ (C:) とシステム回復オプション領域、リカバリーツールの領域以外の領域区分 (パーティション) は消去され、1つの領域になります。この領域はそのままではドライブとして認識されず、使用することはできません。リカバリー後、「コントロールパネル」の「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。

参照 ディスクの管理「本章 **5** - **6** - **1** パーティションを変更してリカバリーをした場合」

リカバリーを行うと、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。

手順⑧では、次の操作を行ってください。

- 1) 「パーティションサイズを指定して復元」をチェックする
 - 2) 「C: ドライブのサイズ」をクリックしてパーティション (ドライブ (C:)) のサイズを指定する
 - 3) 「次へ」ボタンをクリックする
- 「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。
- 処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。
リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『はじめに』

ここでは、「パーティションサイズを変更せずに復元」する方法を例にして説明します。

① リカバリーメディアをセットして、パソコンの電源を切る

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

② コンセントから電源コードのプラグを引き抜き、20秒以上たってから（もう一度）電源コードのプラグをコンセントに接続する

参照 ▶ 電源への接続『取扱説明書』

③ 電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後に **F11** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **Enter** キーを押してください。

④ **↑** または **↓** キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVDの場合は本製品のドライブを示す項目、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目を選択し、**Enter** キーを押してください。

■ 「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示された場合

[TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックしてください。
[システム回復オプション] には、パソコンを使用するうえでのさまざまなトラブルやデータ保護に対応したメニューが用意されています。詳しくは、「1章 **3** 「システム回復オプション」で調べる」を参照してください。

■ OSのタイプを選択する画面が表示された場合

どちらのOSタイプに復元するかをチェックし、[次へ] ボタンをクリックしてください。

⑤ 警告メッセージ画面の内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

[復元方法の選択] 画面が表示されます。

⑥ [初期インストールソフトウェアの復元] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

[ハードディスク上の全データの消去] は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 ▶ 「付録 **1** - **4** ハードディスクの内容をすべて消去する」

- ⑦ [パーティションサイズを変更せずに復元] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックするほかのメニューを選択する場合については、次項「その他のリカバリーメニューについて」を参照してください。

■「パーティションサイズを変更せずに復元」の意味と動作

すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。

ドライブ (C:) がリカバリーされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

ドライブ (C:) にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

 メモ

- リカバリーツールとシステム回復オプションの領域などが確保されているため、ハードディスクの100%を使用することができません。

- ⑧ [次へ] ボタンをクリックする

処理が開始され、[しばらくお待ちください。] というメッセージが表示されます。

画面は、リカバリーの経過に従い切り替わります。

長い時間、同じ画面が表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、[OK] ボタンをクリックしてください。

処理が完了すると、終了画面が表示されます。

- ⑨ リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■DVDの場合

- 1) [終了] ボタンをクリックする
自動的にディスクトレイが開きます。
- 2) リカバリーメディアを取り出す

■USBフラッシュメモリの場合

- 1) USBフラッシュメモリを取りはずす
- 2) [終了] ボタンをクリックする

システムが再起動し、[しばらくお待ちください。] 画面が表示されます。

ここから次の手順の [Windows のセットアップ] 画面が表示されるまで、メッセージが表示されたり、システムが自動的に再起動したりしますが、何も操作する必要はありません。

[Windows のセットアップ] 画面が表示されるまで、お待ちください。

また、この間は絶対に電源を切らないでください。

- ⑩ Windows のセットアップを行う

参照 ▶ Windows セットアップ [本章 5 Windows セットアップ]

その他のリカバリーメニューについて

「本節 **3** リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す」の手順⑦の「初期インストールソフトウェアの復元」画面の、「パーティションサイズを変更せずに復元」以外のメニューの意味と動作は次のようになります。

■ ご購入時の状態に復元

パソコンを購入したときの状態に戻します。

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のパーティション、システム、アプリケーションが復元された状態になります。

手順⑦では、「ご購入時の状態に復元」をチェックして「次へ」ボタンをクリックしてください。「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

■ パーティションサイズを指定して復元

ドライブ (C:) のサイズを変更することができます。

ドライブ (C:) のサイズを、設定できる最大値より小さい値に指定した場合、ドライブ (C:) とシステム回復オプション領域以外の領域区分 (パーティション) は消去され、1つの領域になります。この領域はそのままではドライブとして認識されず、使用することはできません。リカバリー後、「コントロールパネル」の「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。リカバリーツールの領域は消去されるため、作成したリカバリーメディアは大切に保管してください。

参照 ディスクの管理「本章 **5** - **6** - **1** パーティションを変更してリカバリーをした場合」

リカバリーを行うと、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。

手順⑦では、次の操作を行ってください。

- 1) 「パーティションサイズを指定して復元」をチェックする
- 2) 「C: ドライブのサイズ」をクリックしてパーティション (ドライブ (C:)) のサイズを指定する
- 3) 「次へ」ボタンをクリックする

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。

Windowsのセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。

作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプター（付属モデルのみ）の取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い セットアップをするときの注意

■ セットアップ前に確認してください

- マウスとキーボードが接続されていることを確認してください。接続していないと、セットアップを行うことができません。
- 増設メモリ、PCIカード、PCI Expressカードを取り付けたり、プリンターを接続するなどの機器の拡張を行っている場合、正しくセットアップできない場合があります。ディスプレイやマウス、キーボード以外の周辺機器の取り付けや接続はシステムのセットアップ終了後に行ってください。
- セットアップを行うときは、LANケーブルは接続しないでください。LANケーブルが接続されていると、ネットワークの設定が既定値（default）のままネットワークに接続してしまうため、ネットワークに障害をもたらす場合があります。
- システムのセットアップ中は、絶対に電源を切らないでください。
- やむをえない場合以外は、セットアップ中にキャンセルしないでください。正しくセットアップできない場合があります。
- ケーブル類が確実に接続されていることを、もう一度確認してください。
- セットアップを行わないと、あらかじめインストールされているシステムやアプリケーションを使用することはできません。

■ 周辺機器は接続しないでください

- セットアップが完了するまでは、プリンターなどの周辺機器やLANケーブルは接続しないでください。

パソコン本体の電源を切った状態で、あらかじめ取りはずしておいてください。

参照 機器の取りはずし『取扱説明書』

■ 途中で電源を切らないでください

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- セットアップ中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。

しばらくマウスやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。

もう一度表示するには、**[Enter]**キーまたは**[Shift]**キーを押すか、マウスをさわってください。

キーやマウスでは復帰せず、電源ランプが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

1 Windows 10のセットアップ

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
リカバリー後に再度セットアップするときなどは、必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

* この操作は、『スタートアップガイド』でも説明しています。

リカバリー終了後、ライセンス条項画面が表示されます。

1 Windows 10のセットアップ

セットアップには約10～20分かかります。

1 ライセンス条項の内容を最後まで確認し、[承諾する] をクリックする

2 [簡単設定を使う] をクリックする

パソコンを使用するうえでの基本的な設定は、セットアップ完了後に変更できるので、ここでは「簡単設定」を選択した場合について説明します。

[このPC用のアカウントの作成] 画面が表示されます。

3 ユーザー名を入力する

ユーザー名は、パソコンがユーザーを識別するための名前です。必ず入力してください。次の手順で入力するユーザー名は、管理者として識別されます。管理者は、ネットワークやパソコンを管理する権限があります。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

[ユーザー名]と書いてある欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。**ユーザー名は、半角英数字で入力してください。**

「|」（カーソル）が表示されている位置から文字の入力ができます。

同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

「toshiba」と入力するときは、キーボードで **T O S H I B A** と押します。

■ キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、入力欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する **BackSpace** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する **Delete** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

■ ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、（スペース）

4 パスワードを入力する

お願い

- パスワードを忘れると、Windows を起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をしなくてはなりません。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

ここでは、Windows を起動するときに入力しないと、Windows を起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windows パスワード」と呼びます。

[パスワードを入力してください] と書いてある欄に、Windows パスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windows パスワードは半角英数字で 127 文字まで設定できます。8 文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windows パスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力を間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

5 パスワードをもう一度入力する

[もう一度パスワードを入力してください] と書いてある欄に、手順 **4** で入力した Windows パスワードを、もう一度入力してください。

6 パスワードのヒントを入力する

設定した Windows パスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておくことで、パスワード入力画面で表示させることができます。

[パスワードのヒント] と書いてある欄に、自分だけがパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

7 [次へ] をクリックする

3 章

パソコンを再セットアップするには

8 しばらくお待ちください

パソコンの準備をしている画面が表示されるので、そのまま電源を切らずにお待ちください。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、**Enter** キーを押してください。次の画面に進みます。

パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力し、**Enter** キーを押してください。

Windows が起動します。

3 章

パソコンを再セットアップするには



- しばらくマウスやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**Shift** キーを押すか、マウスをさわってください。**Shift** キーやマウスでは復帰せず、電源ランプが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

2 Windows 10のセットアップが終了したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定や更新を行ってください。

インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で控えておいた設定情報を元に、行ってください。

その他必要に応じて、メールの再設定、購入後に追加したアプリケーションのインストール、データの復元などを行ってください。

参照▶ 詳細について「本章 2 - 1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ」



メモ

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

参照▶ 「本章 6 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

1 Office製品の再インストールとライセンス認証

* Office搭載モデルのみ

付属のリカバリーDVD-ROMを使ってリカバリーした場合、リカバリー後にOffice製品を再インストールする必要があります。インターネットからのダウンロード、またはバックアップディスク（有償）を利用して再インストールすることができます。再インストール方法は、『パッケージに付属している説明書』を参照してください。

ハードディスクや、作成したリカバリーメディアからリカバリーした場合は、リカバリー後、Office製品の再インストールは必要ありません。

いずれの場合も、Office製品の初回起動時にライセンス認証が必要になります。

参照▶ 「Office」のライセンス認証について『はじめに』

2 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。

3 Windows 8.1 のセットアップ

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。

リカバリー後に再度セットアップするときなどは、必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

* この操作は、『スタートアップガイド』でも説明しています。

リカバリー終了後、ライセンス条項画面が表示されます。

1 Windows 8.1 のセットアップ

セットアップには約 10～20 分かかります。

1 Windows と当社のライセンス条項の内容を最後まで確認し、[同意します] をクリックする

[パーソナル設定] 画面が表示されます。

2 好きな色を選択する

Windows 画面上の基本色を設定できます。表示されているバーの中から好みの色をクリックしてください。

色はあとから変更できます。

3 PC (コンピューター) 名を入力する

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。必ず設定してください。

半角英数字で任意の文字列を入力してください。半角英数字以外は使用しないでください。

「|」(カーソル) が表示されている位置から文字の入力ができます。

同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

「toshiba」と入力するときは、キーボードで **T O S H I B A** と押します。

■ キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」(カーソル) が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、[PC名] の下の欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する **BackSpace** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する **Delete** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

4 [次へ] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

5 [簡単設定を使う] をクリックする

パソコンを使用するうえでの基本的な設定は、セットアップ完了後に変更できるので、ここでは「簡単設定」を選択した場合について説明します。

[お使いのアカウント] 画面が表示されます。

6 ユーザー名を入力する

ユーザー名は、Windows を使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。必ず設定してください。管理者ユーザーとは、ネットワークやパソコンを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windows のセットアップ後に登録できます。

[ユーザー名]と書いてある右の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

■ ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

7 パスワードを入力する

お願い

- パスワードを忘れると、Windows を起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。

ここでは、Windows を起動するときに入力しないと、Windows を起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windows パスワード」と呼びます。

[パスワード] と書いてある右の欄に、Windows パスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windows パスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windows パスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

8 パスワードをもう一度入力する

[パスワードの確認入力] と書いてある右の欄に、手順 **7** で入力した Windows パスワードを、もう一度入力してください。

9 パスワードのヒントを入力する

設定した Windows パスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

[パスワードのヒント] と書いてある右の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

10 [完了] をクリックする

11 パソコンの設定が準備される

Windows セットアップが終了すると、コンピューターがユーザーの設定を準備します。しばらくお待ちください。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、**Shift** キーを押してください。次の画面に進みます。

パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力して **Enter** キーを押してください。

Windows が起動します。

メモ

- しばらくマウスやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**Shift** キーを押すか、マウスをさわってください。**Shift** キーやマウスでは復帰せず、電源ランプが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

4 Windows 8.1 のセットアップが終了したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定や更新を行ってください。

インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で控えておいた設定情報を元に、行ってください。

その他必要に応じて、メールの再設定、購入後に追加したアプリケーションのインストール、データの復元などを行ってください。

参照 ▶ 詳細について「本章 2 - 1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ」

メモ

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

参照 ▶ 「本章 6 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

1 Office 製品の再インストールとライセンス認証

* Office搭載モデルのみ

付属のリカバリーDVD-ROMを使ってリカバリーした場合、リカバリー後にOffice製品を再インストールする必要があります。インターネットからのダウンロード、またはバックアップディスク（有償）を利用して再インストールすることができます。再インストール方法は、『パッケージに付属している説明書』を参照してください。

ハードディスクや、作成したリカバリーメディアからリカバリーした場合は、リカバリー後、Office製品の再インストールは必要ありません。

いずれの場合も、Office製品の初回起動時にライセンス認証が必要になります。

2 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。

5 Windows 7のセットアップ

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。

リカバリー後に再度セットアップするときなどは、必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

* この操作は、『スタートアップガイド』でも説明しています。

リカバリー終了後、[Windowsのセットアップ] 画面が表示されます。

メモ

- [Windowsのセットアップ] 画面が表示されるまで、しばらく時間がかかります。また、モデルによっては必要なアプリケーションをインストールしているメッセージ画面が表示される場合がありますが、この間に絶対に電源を切らないようにしてください。
- Windowsのセットアップが完了するまで、パソコンの音量の調節はできません。

1 OSのタイプを選択する画面が表示された場合

* [Windowsのセットアップ] 画面が表示された場合は、本項「**2** Windows 7のセットアップ」に進んでください。

パソコンが起動し、OSのタイプを選択する画面が表示された場合は、Windows 7のOSのタイプ（32ビット版と64ビット版）を選択します。

使い慣れたソフトや周辺機器を活用できる32ビット版、対応しているアプリケーションを使えばより高いパフォーマンスを発揮できる64ビット版、それぞれ目的に応じて選択してください。

工場出荷時にインストールされているOSと違うOSのタイプを選択した場合は、再インストールが必要になりますので、セットアップ開始までに約2～2.5時間かかります。

1 インストールするOSタイプの左にある をクリックする

工場出荷時にインストールされているOSタイプは、別紙の『本製品の仕様について』を参照してください。

32ビット版のときは [Windows 7 32ビットバージョン] を、64ビット版のときは [Windows 7 64ビットバージョン] をクリックしてください。

をクリックすると になります。

2 [次へ] ボタンをクリックする

■ 工場出荷時がWindows 7 32ビット版の場合

32ビットを選択した場合には、終了画面が表示されます。

[終了] ボタンをクリックし、続けて「本項 **2** Windows 7のセットアップ」に進んでください。

64ビットを選択した場合には、警告メッセージ画面が表示されます。

以降は、「ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す」手順を参照してください。

参照▶ 「本章 **4** - **2** ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す」

■ 工場出荷時がWindows 7 64ビット版の場合

32ビットを選択した場合には、警告メッセージ画面が表示されます。

以降は、「ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す」の手順を参照してください。

参照▶ ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す『困ったときは』

64ビットを選択した場合には、終了画面が表示されます。

[終了] ボタンをクリックし、続けて「本項 **2** Windows 7のセットアップ」に進んでください。

2 Windows 7のセットアップ

セットアップには約10～20分かかります。

1 [国または地域] 欄に「日本」と表示されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする

ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されます。

ユーザー名は、Windows を使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。

管理者ユーザーとは、ネットワークやコンピューターを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windows のセットアップ後に登録できます。

2 ユーザー名を入力する

[ユーザー名を入力してください] と書いてある下の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。

ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

「toshiba」と入力するときは、キーボードで **T O S H I B A** と押します。

■ ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

■ キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、[ユーザー名を入力してください] の下の欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する **BackSpace** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する **Delete** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

3 コンピューター名を入力する

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。

[コンピューター名を入力してください] と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。

半角英数字以外は使用しないでください。また、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

4 [次へ] ボタンをクリックする

[ユーザーアカウントのパスワードを設定します] 画面が表示されます。

5 パスワードを入力する

お願い

- パスワードを忘れると、Windows を起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

[パスワードを入力してください] と書いてある下の欄に、Windows ログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windows ログオンパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することをおすすめします。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。Windows ログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

6 パスワードをもう一度入力する

[パスワードをもう一度入力してください] と書いてある下の欄に、手順 **5** で入力したWindows ログオンパスワードを、もう一度入力してください。

7 パスワードのヒントを入力する

設定したWindows ログオンパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

[パスワードのヒントの入力] と書いてある下の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

8 [次へ] ボタンをクリックする

[ライセンス条項をお読みになってください] 画面が表示されます。

9 マイクロソフトと当社のライセンス条項の内容を確認し、それぞれの[ライセンス条項に同意します]の左にある□をクリックする

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windows やコンピューターを使用することはできません。

表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ▼ ボタンをクリックします。

10 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピューターの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください] 画面が表示されます。

11 [推奨設定を使用します] をクリックする

[日付と時刻の設定を確認します] 画面が表示されます。

12 日付と時刻を確認する

コンピューターの内蔵時計の日付と時刻が合っているかどうか確認し、合っていない場合は、正しい内容に設定してください。

[タイムゾーン] は、欄の右にある ▼ をクリックして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をクリックしてください。

年・月の左右にある ◀ または ▶ をクリックすると、月ごとに順に表示が切り替わります。

年・月を合わせてから、該当する日をクリックしてください。

時刻表示の右にある ▲ または ▼ をクリックすると、順に数字が切り替わります。変更したい時/分/秒をクリックしてから ▲ または ▼ をクリックしてください。

お願い

- 日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。
- 日付と時刻はWindows セットアップ終了後に設定することもできます。

参照 ▶ 日付と時刻の設定『Windows ヘルプとサポート』

13 [次へ] ボタンをクリックする

14 ユーザーの設定が準備される

Windows セットアップが終了すると、コンピューター内にユーザーの設定が用意されます。

モデルによっては、作業を完了するためにシステムが再起動します。

しばらくお待ちください。

パスワード入力画面が表示された場合は、Windows ログオンパスワードを入力し、**Enter** キーを押してください。

Windows が起動します。

メモ

- しばらくマウスやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**Shift** キーを押すか、マウスをさわってください。
Shift キーやマウスでは復帰せず、電源ランプが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。
- パソコンを起動するときに流れる Windows の起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。

6 Windows 7のセットアップが終了したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定や更新を行ってください。

インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で控えておいた設定情報を元に、行ってください。

その他必要に応じて、メールの再設定、購入後に追加したアプリケーションのインストール、データの復元などを行ってください。

参照 ▶ 詳細について「本章 2 - 1」パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ」

3 章

メモ

● Office搭載モデルの場合、リカバリー後、「Office」のライセンス認証が必要になります。

参照 ▶ 「Office」のライセンス認証について『はじめに』

● 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

参照 ▶ 「本章 6」プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

1 パーティションを変更してリカバリーをした場合

Windows 7で「パーティションサイズを指定して復元」を選択してリカバリーをした場合のみ、リカバリー後すみやかに次の設定を行ってください。

お願い パーティションを設定するにあたって

- Windowsの「ディスクの管理」を使用すると、ボリュームがないプライマリパーティションが表示されます。このパーティションにはリカバリーをするためのデータが保存されていますので、削除しないでください。削除した場合、リカバリーはできなくなります。

- ① 管理者ユーザーアカウントでログオンする
- ② [スタート] ボタン () → [コントロールパネル] をクリックする
- ③ [ システムとセキュリティ] → [ 管理ツール] をクリックする
- ④ [ コンピューターの管理] をダブルクリックする
- ⑤ 画面左側の [ ディスクの管理] をクリックする
設定していないパーティションは [未割り当て] と表示されます。
- ⑥ [ディスク0] の [未割り当て] の領域を右クリックする
- ⑦ 表示されるメニューから [新しいシンプル ボリューム] をクリックする
[新しいシンプル ボリューム ウィザード] が起動します。

⑧ [次へ] ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する

次の項目を設定します。

- ・ ボリュームサイズの指定
- ・ ドライブ文字またはパスの割り当て
- ・ パーティションのフォーマット
- ・ ファイルシステム
- ・ アロケーションユニットサイズ
- ・ ボリュームラベル
- ・ クイックフォーマット
- ・ ファイルとフォルダーの圧縮

⑨ 設定内容を確認し、[完了] ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。

パーティションの状態が [正常] と表示されれば完了です。

詳しくは、「コンピューターの管理」のヘルプを参照してください。

■ ヘルプの起動

- ① [コンピューターの管理] 画面のメニューバーから [ヘルプ] → [トピックの検索] をクリックする

2 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。

アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

1 操作手順

①「アプリケーションの再インストール」を起動する

■ Windows 10の場合

- 1) [スタート] ボタン () をクリックする
- 2) [すべてのアプリ] をクリックする
- 3) [ アプリケーションの再インストール] をクリックする

■ Windows 8.1の場合

- 1) スタート画面で、ポインターを動かす
- 2) 画面左下の  をクリックする
- 3) [ アプリケーションの再インストール] をクリックする

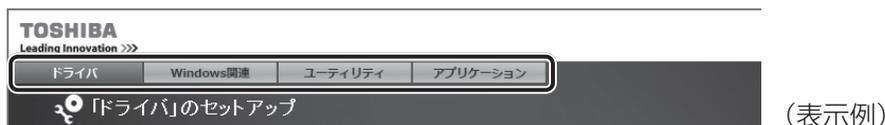
■ Windows 7の場合

- 1) [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [アプリケーションの再インストール] をクリックする

② [セットアップ画面へ] をクリックする

アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。

③ タブをクリックして、再インストールしたいアプリケーションを探す



画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。アプリケーションをクリックすると、画面右側に説明が表示されますので、よくお読みください。

④ 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の「[XXX]のセットアップ」をクリックする

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。

選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の、下線が引かれている言葉をクリックしてください。

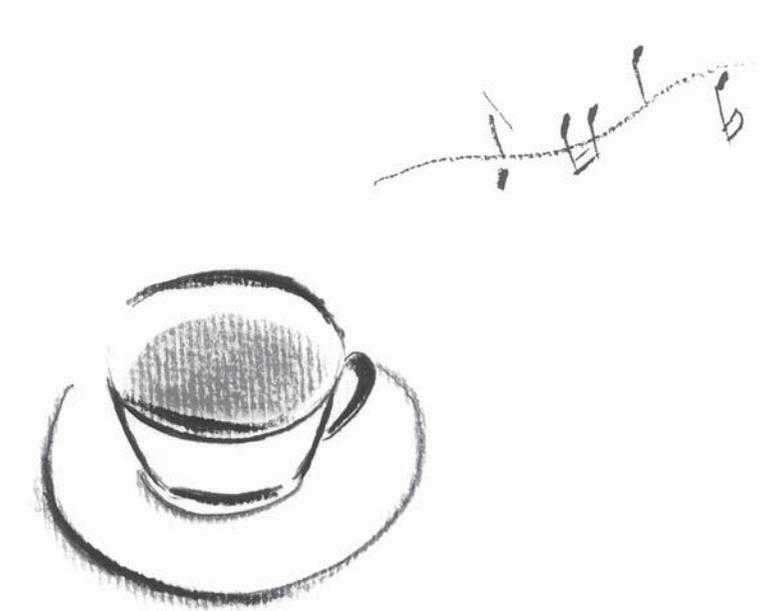
⑤ 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

「XXXXX（ファイル名）をXXXXX（マシン名）から開きますか？」というメッセージが表示された場合は、[開く] ボタンをクリックしてください。

「XXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」または「このファイルを実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、[実行] ボタンをクリックしてください。



- Windows 10/Windows 8.1 の場合、[アプリケーションの再インストール] にないアプリケーションは、Windowsストアからダウンロードできる場合があります。
-



4章

■ 保守サービス

本製品で提供する保守サービスや、保守サービスを実施する当社指定のサービス会社について、説明しています。

1 保守サービスについて

取扱説明書、パソコン本体貼付ラベルなどに記載された正常な使用をされている場合で、かつお買い上げ日から一定期間の保証期間中に機器が故障したときは、「保証書」に記載の無料修理規定に従い、機器の無料修理をいたします（詳しくは「保証書」に記載の無料修理規定をご覧ください）。

保証書を紛失されたり、保証書の記述内容に誤りがあると、無料修理を受けられない場合がありますので、お手持ちの保証書をご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間を経過した後の保守サービスには、安心してご利用いただける「保守契約サービス」をおすすめします。

「保守契約サービス」をご契約でない場合は、有料の「SENDバック（ピックアップ）スポット修理サービス」または「出張（オンサイト）スポット修理サービス」をご利用ください。

保守サービスは当社指定のサービス会社によって実施します。

サービス会社によりご提供できる保守サービスやサービス内容が異なりますので、詳細は当社指定の各サービス会社へお問い合わせください。

■保守契約サービス

「保守契約サービス」をご契約いただいているお客様に対し、優先してサービス技術員を派遣し、故障の修理を行うサービスです。

お客様のご住所やお名前、機器の型番号などがあらかじめ登録されているため、速やかな訪問ができます。

- 保守契約料金は年間一括払いです。このため、お支払いのお手間がかりません。また、金額があらかじめ明確になっているため、計画的に機器の管理、運用が行えます。ご契約期間中は、次に挙げる場合を除き、原則として保守契約料金以外の費用はかかりません。外的要因、火災、天災地変、ガス害、塩害、虫害、異常電圧、ご使用上の誤り、その他当社の責に帰し得ない事情により生じた障害・故障・損傷、消耗品の交換など
- ご契約は、お客様と当社指定のサービス会社との間で締結していただきます。ご契約内容、契約期間、保守契約料金、お支払方法などについては、当社指定のサービス会社へお問い合わせください。

■SENDバック（ピックアップ）スポット修理サービス

故障した機器を、お客様から当社指定のサービス会社にお送りいただくか、または当社指定のサービス会社が契約した運送会社がおお客様の元へ回収に伺い、修理してお返しするサービスです。

- SENDバック（ピックアップ）修理サービスの料金は、次の項目で構成されています。
 - ・ 機器の往復輸送にかかる料金
 - ・ 技術料金
 - ・ 部品料金またはユニット修理料金
- 輸送方法や修理料金など、詳細は当社指定のサービス会社へお問い合わせください。

■出張（オンサイト）スポット修理サービス

* 東芝クライアントソリューション株式会社（2016年4月1日以降）での取り扱いとなります。

お客様からの修理のご依頼により、サービス技術員を派遣いたします。

「保守契約サービス」をご利用いただいているお客様を優先させていただきますので、ご希望の日時にご訪問できない場合があります。あらかじめご了承ください。

- 出張（オンサイト）修理サービスの料金は、次の項目で構成されています。
 - ・出張料金
 - ・技術料金
 - ・部品料金またはユニット修理料金
- 交換が必要な部品、ご希望の日時、緊急修理のご要望などにより、ご利用の料金は異なります。詳細は当社指定のサービス会社へお問い合わせください。

2 交換元（取りはずした）部品の所有権

有料修理でユニット修理を適用した場合、および無料修理の交換元（取りはずした）部品の所有権は、当社指定のサービス会社に帰属します。

3 データの保存について

パソコン本体または外付けの記憶装置（ハードディスクドライブ、記録メディアなど）に保存されるお客様のソフトウェアやデータについては、保証いたしません。

故障時の修理の際に、ハードディスクなどの交換、初期インストール作業（標準出荷状態）など、お客様が記憶装置内に記録されたデータやインストールされたソフトウェアは消去される場合があります。

必ず、定期的にまたは修理を依頼される前に、バックアップをとり、重要な内容は紙などに控えておいてください。

記録内容が変化・消失したことによる損失・損害などの請求につきましては、いっさいその責任を負いません。

4 保守部品（補修用性能部品）について

■保守部品（補修用性能部品）の交換について

保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。

■保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。

本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から6年6ヵ月です。

保有期間の終了をもちまして、保守サービスは終了させていただきます。

5 パソコンの据え付け・増設作業について

パソコンの据え付けや増設作業についても、当社指定のサービス会社にて承ります。据え付けや増設作業については、当社指定のサービス会社へお問い合わせください。

6 当社指定のサービス会社

お客様がご契約の「保守契約サービス」または購入ルートにより、あらかじめサービス会社が指定されている場合があります。ご連絡いただく前に、事前にご確認をお願いいたします。

◆東芝クライアントソリューション株式会社（2016年4月1日以降）

ホームページ：<http://dynabook.com/pc/business/service/support/repair/>

電話：0120-335-660（フリーダイヤル）
03-5144-3816（フリーダイヤルをご利用になれない場合／有料）
音声ガイダンスに従い、次のとおりプッシュボタンを押してください。

- ・出張（オンサイト）修理のご用命：* 1
- ・センドバック（ピックアップ）修理のご用命：* 2
- ・上記以外のお問い合わせ：* 9

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・指定休日を除く）

◆東芝ITサービス株式会社

ホームページ：<http://www.it-serve.co.jp/>

電話：0120-199-171（フリーダイヤル）

受付時間：8:30～17:30（土・日・祝日・年末年始・指定休日を除く）

*「保守契約サービス」と「センドバック（ピックアップ）スポット修理サービス」の取り扱いとなります。

付録

お客様登録の手続きや、本製品を廃棄するときに行うことなどについて説明しています。

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、ハードディスクの内容を消去してください。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンに使われているハードディスクの記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去する作業が必要となります。

ところが、このハードディスクに書き込まれたデータを消去するのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ◆データを「ごみ箱」に捨てる
- ◆「削除」操作を行う
- ◆「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ◆ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ◆添付のリカバリーDVD-ROM、または作成したリカバリーメディアを使い、購入時の状態に戻す

などの作業をしますが、これらの作業では、ハードディスク上に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの状態です。

つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、実際のデータは、まだ残っているのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様が、廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有料）を利用するか、金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることをおすすめします。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をする必要があります。

データ消去については、次のホームページも参照してください。

URL <http://dynabook.com/pc/eco/haiki.htm>

本製品を廃棄するときは、企業と家庭では廃棄方法が異なります。以下の要領にて処理してください。

1 企業でパソコンを使用しているお客様へ

本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。

当社は、廃棄品の回収と適切な再資源化処理を実施しております。(有料)

以下へお問い合わせください。

●問い合わせ先

東芝IT 機器リサイクルセンター

TEL : 045-440-6433

受付時間 : 9:00～17:00 (土・日・祝日、当社指定の休日を除く)

FAX : 045-453-2472 (24時間受付)

●当社ホームページでご紹介

ホームページ : <http://dynabook.com/pc/eco/recycle.htm>

2 家庭でパソコンを使用しているお客様へ

本製品を廃棄するときは、当社の家庭系使用済みパソコン回収受付窓口へお申し込みください。

廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有料で実施いたします。

●パソコン回収受付窓口

東芝 dynabook リサイクルセンタ

●回収申込方法

●当社ホームページよりお申し込みの場合

ホームページ : <http://dynabook.com/pc/eco/recycle.htm> (24時間受付)

●電話にてお申し込みの場合

東芝 dynabook リサイクルセンタ

TEL : 043-303-0200

受付時間 : 10:00～17:00 (土・日・祝日、当社指定の休日を除く)

FAX : 043-303-0202 (24時間受付)

●回収・再資源化対象機器

対象	対象外
当社製の ・ノートパソコン本体 ・デスクトップパソコン本体 ・ブラウン管 (CRT) ディスプレイ ・液晶ディスプレイ ・ディスプレイ一体型パソコン	・プリンター ・携帯情報端末 (PDA) ・別売りの周辺機器 ・HDDビデオレコーダー ・ワープロ専用機

3 お客様登録の削除について

● ホームページから削除する

東芝ID (TID) をお持ちの場合はこちらからお願いします。

① インターネットで「<http://toshibadirect.jp/room1048/>」へ接続する

② ページ右の「ログイン」をクリックする

「ログイン」画面が表示されます。

③ メールアドレスまたは「東芝ID (TID)」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックする

マイページが表示されます。

※ システムの仕様上、ご登録メールアドレスにてログインできない場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝ID (TID) でログインしてください。

④ ページ右下の「退会」をクリックする

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※ Room1048を退会されると、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● 電話で削除する

「東芝ID事務局 (お客様情報変更)」までご連絡ください。

- 東芝ID事務局 (お客様情報変更)

TEL : 0570-09-1048 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00~17:00 (土・日、祝日、当社特別休日を除く)

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。

4 ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、ハードディスクに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

Windows 10／Windows 8.1 の操作手順

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

ハードディスクの内容を削除するには、ハードディスクの消去機能、作成したリカバリーメディア、または付属のリカバリーDVD-ROM (付属しているモデルのみ) を使用します。

お願い パソコンを譲渡する場合には

- ハードディスクの内容を削除すると、ハードディスク内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム (OS) やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成『はじめに』

■ ハードディスクの消去機能から行う方法

- ① データを保存し、**Shift** キーを押しながら [シャットダウン] をクリックして電源を切る
参照 電源の切りかた『取扱説明書』

- ② 電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後にキーボードの **0** (ゼロ) キー (かな入力の **わ** キー) を数回押す
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **Enter** キーを押してください。
「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順③に進んでください。
[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順④に進んでください。

- ③ [Yes] (「YES」) を選択して、**Enter** キーを押す
[オプションの選択] 画面が表示されます。

- ④ [トラブルシューティング] をクリックする
[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

- ⑤ [TOSHIBA Maintenance Utility] をクリックする
復元方法を選択する画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。
消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順⑦に進んでください。
[データの消去を開始します。] 画面が表示された場合は、手順⑧に進んでください。

- ⑥ [ハードディスク上の全データの消去] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする
消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順⑦に進んでください。
[データの消去を開始します。] 画面が表示された場合は、手順⑧に進んでください。

- ⑦ [標準データの消去] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする
モデルによっては [機密データの消去] 項目も表示されますが、通常は [標準データの消去] を選択してください。[機密データの消去] は、より確実にデータを消去できますが、より時間がかかります。

[データの消去を開始します。] 画面が表示されます。

処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

⑧ [次へ] ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示された場合、画面の内容を確認し、[はい] ボタンをクリックしてください。

消去が実行されます。画面は、処理の経過に従い切り替わります。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

⑨ [終了] ボタンをクリックする

■作成したリカバリーメディアや、付属のリカバリーDVD-ROMから行う方法

ここでは、リカバリーメディアを例に説明します。付属のリカバリーDVD-ROMを使用する場合は、リカバリーメディアの場合と同様に操作してください。

リカバリーDVD-ROMが付属していないモデルの場合、DVDのリカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『はじめに』

① リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。

USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 ▶ USB対応機器やDVDを本製品にセットする『取扱説明書』

② データを保存し、**[Shift]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

参照 ▶ 電源の切りかた『取扱説明書』

③ 電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後に **[F11]** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[Enter]** キーを押してください。

④ **[↑]** または **[↓]** キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVDの場合は本製品のドライブを示す項目、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目を選択し、**[Enter]** キーを押してください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

⑤ [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑥ 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

以降は、前項の「■ハードディスクの消去機能から行う方法」の手順⑥以降を参照してください。

Windows 7の操作手順

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

ハードディスクの内容を削除するには、ハードディスクのリカバリーツール、または作成したリカバリーメディアを使用します。

ハードディスクのリカバリーツールを使用すると、ハードディスク内のデータはすべて消去されますが、リカバリーツールは残ります。

作成したリカバリーメディアを使用すると、ハードディスク内のデータと共にリカバリーツールも消去されます。

■ハードディスクのリカバリーツールから行う方法

①データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照▶ 電源の切りかた『取扱説明書』

②コンセントから電源コードのプラグを引き抜き、20秒以上たってから（もう一度）電源コードのプラグをコンセントに接続する

参照▶ 電源への接続『取扱説明書』

③電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後にキーボードの **0**（ゼロ）キー（かな入力の **わ** キー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **Enter** キーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順④に進んでください。

OSのタイプを選択する画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

警告メッセージ画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。

④「Yes」（「YES」）を選択して、**Enter** キーを押す

OSのタイプを選択する画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

警告メッセージ画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。

⑤【次へ】 ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑥画面の内容を確認し、【はい】 ボタンをクリックする

【復元方法の選択】画面が表示されます。

⑦【ハードディスク上の全データの消去】をチェックし、【次へ】 ボタンをクリックする

消去方法を選択する画面が表示されます。

⑧目的に合わせて、【標準データの消去】または【機密データの消去】をチェックし、【次へ】 ボタンをクリックする

通常は【標準データの消去】を選択してください。データを読み取れなくなります。

より確実にデータを消去するためには、【機密データの消去】を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。

【データの消去を開始します。】画面が表示されます。

処理を中止する場合は、【キャンセル】 ボタンをクリックしてください。

⑨【次へ】 ボタンをクリックする

消去が実行されます。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

⑩【終了】 ボタンをクリックする

■ 作成したリカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照▶ リカバリーメディアの作成『はじめに』

① リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

② データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照▶ 電源の切りかた『取扱説明書』

③ コンセントから電源コードのプラグを引き抜き、20秒以上たってから（もう一度）電源コードのプラグをコンセントに接続する

参照▶ 電源への接続『取扱説明書』

④ 電源スイッチを押し、ビープ音が鳴った直後に **F11** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **Enter** キーを押してください。

⑤ **↑** または **↓** キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVDの場合は本製品のドライブを示す項目、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目を選択し、**Enter** キーを押してください。

■「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示された場合

[TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックしてください。

■OSのタイプを選択する画面が表示された場合

[次へ] ボタンをクリックしてください。

警告メッセージ画面が表示されたら、以降は、前項の「■ハードディスクのリカバリーツールから行う方法」の手順⑥以降を参照してください。

5 TPMの内容を消去する

* TPM搭載モデルのみ

TPMを使用している場合、ハードディスクだけでなく、TPM内部のデータを削除する必要があります。登録情報など、セキュリティに関する重要な情報が含まれるため、必ずデータを削除してください。

参照▶ TPMについて『取扱説明書』

6 内蔵バッテリーについて

不要になった内蔵バッテリーは、ショート防止のために、電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。そのままの状態ですと、破裂、発火のおそれがあります。

2

リカバリーチェックシート

パソコンのリカバリーを行う際は、次の説明をお読みにになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。 **参照**▶ 各項目の詳細「3章」

1 リカバリーする前に、次の方法を実行してみる

リカバリー	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
<input checked="" type="checkbox"/>	Windows 7の場合は、セーフモードで起動できるかどうか実行してみる
<input checked="" type="checkbox"/>	周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす
<input checked="" type="checkbox"/>	1章、2章をご覧ください、ほかのトラブル解消方法を探す
<input checked="" type="checkbox"/>	「システムの復元」を実行して、パソコンを以前の状態に復元する

2 リカバリーする前にすること

リカバリー	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① 準備するもの リカバリーの手順と「リカバリーチェックシート」（本シート）を印刷したもの
<input checked="" type="checkbox"/>	リカバリーメディア（*メディアからリカバリーする場合のみ） リカバリーDVD-ROM（*付属しているモデルのみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	② 必要なデータのバックアップをとる ● [ドキュメント]、[ピクチャー]、デスクトップ上などのデータ ● インターネットの [お気に入り] のデータ ● メール送受信データ、メールアドレス ● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル）
<input checked="" type="checkbox"/>	③ アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する ● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア ● Officeのパッケージ（プロダクトキーの情報）（* Office搭載モデルのみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	④ 各種設定を ウイルスチェックソフトの設定など
<input checked="" type="checkbox"/>	確認する インターネット、Windowsサインイン時またはWindowsログオン時のアカウント名などの設定
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす

3 リカバリーの実行と、その後にする事

リカバリー	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① リカバリーを行う（*リカバリー後は初期セットアップが必要）
<input checked="" type="checkbox"/>	② 周辺機器（プリンターなど）を取り付けて、設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	③ ウイルスチェックソフトの利用を開始する
<input checked="" type="checkbox"/>	④ インターネットを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する、Windows Updateを行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ メールを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑦ アプリケーションのインストールや設定を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑧ バックアップをとったデータを復元する

3

トラブルチェックシート

当社指定のサービス会社にお問い合わせの際には、円滑に対応させていただくために、あらかじめ、以下の内容についてご確認ください。

参照▶ 当社指定のサービス会社「4章 保守サービス」

Q.1 ご使用になっているパソコン名（形名）は？（製品本体に貼られているラベルで確認）

パソコン名（形名）：

Q.2 ご使用になっているソフトウェア環境は？

Windows 10など、お使いのシステムとアプリケーションをお知らせください。

OS（システム）名：

その他：

Q.3 どのような症状が起きましたか？

症状：

Q.4 その症状はどのような操作をしたあと、発生するようになりましたか？

ハードウェアの増設のあと（具体的に： _____）

ソフトウェア導入のあと（具体的に： _____）

その他（具体的に： _____）

Q.5 エラーメッセージなどは表示されましたか？

表示内容：

Q.6 その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？

一度発生したが、その後発生しない 常に発生する

電源を切らないと発生するが、電源を切って再起動すれば発生しない

電源を切ってから再起動しても必ず発生する

その他：

Q.7 その症状が発生するのは決まった操作のあとですか？

ある一定の操作をすると発生する

どんな操作をしても発生する

その他：

Q.8 使用中に青い画面（ブルースクリーン）が発生した場合、「Stop」のあとのエラーメッセージ内容は、どのような表記でしたか？

「Stop」を含むエラーメッセージ内容から、不具合原因の特定が可能となる場合があります。

表示内容：

Q.9 インターネットや通信に関するご相談の場合

プロバイダー名：

使用モデム名：

使用回線： ブロードバンド

ダイヤルアップ接続

携帯電話／PHS 接続

ISDN 接続

Q.10 お問い合わせの内容が周辺機器の場合、ご使用になっている周辺機器名は何ですか？

機器名（製品名）：

メーカー名：

OSのバージョンやCPUの種類については、次の手順でご確認ください。

■ Windows 10の場合

【タブレットモードがOFFの場合】

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [TOSHIBA] → [PCシステム情報] をクリックする

【タブレットモードがONの場合】

- ① スタートメニューの左上の  をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [TOSHIBA] → [PCシステム情報] をクリックする

■ Windows 8.1の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [TOSHIBA] の [PCシステム情報] をクリックする

■ Windows 7の場合

- ① [スタート] ボタン () - [すべてのプログラム] - [TOSHIBA] - [サポート&リカバリー] - [PC診断ツール] をクリックする
- ② [基本情報] タブをクリックする